



全国学力・学習状況調査の結果について

4月に本校3年生20名を対象として実施された「全国学力・学習状況調査」の結果を分析し、本校生徒の学力や学習状況の傾向をまとめました。

豊浦中生の強み

- ・学校が楽しいと感じている生徒が多い
- ・先生との信頼関係が良好である
- ・友達との関係に満足している
- ・ICTを活用した学習に自信をもっている

今後さらに伸ばしていきたいこと

- ・家庭学習時間の充実
- ・読書習慣の定着
- ・起床時間、食事の時間、寝る時間の固定
- ・自分に合った学び方を見つけ、学習方法を工夫する力
- ・学んだことを活用し、自分の考えをまとめたり表現したりする力

学力面の特徴

数学では、「数と式」「データの活用」で高い力を発揮しました。一方で、「図形」や「関数」に課題が見られました。国語では、「話すこと・聞くこと」で成果を上げた一方、「読むこと」に課題がありました。英語は、「聞くこと」よりも「読むこと」「書くこと」を得意としていることが分かりました。

また、3教科に共通して、知識面や技能面の着実な定着は見られました。一方で思考力・判断力・表現力の向上が課題として挙げられます。今後は、授業の中で互いに説明し合ったり、全体の場で考えを発表したりするなど、対話的・主体的な学びを充実させ、一層の力の向上を図っていきます。

生徒質問紙調査の結果から

生徒質問紙では、「学校が楽しい」「友達関係に満足している」「幸せな気持ちになることが多い」などの項目で全国平均を上回る結果となりました。また、「人と違う意見を言っても否定されない」「先生は分かるまで教えてくれる」と回答した生徒も多く、安心して学べる環境が整っていることがうかがえます。

その一方で、「自分と異なる意見や考えを楽しむこと」や「家庭で学習について話題にすること」については、今後さらに充実を図っていきたい結果となりました。学習面では、ICTを活用する力や主体的に学習に取り組もうとする姿勢に成果が見られる一方、仲間との対話や協働を通して学びを深める力をより高めていくことが課題として見えてきました。また、学んだ知識や技能を活用して考えたり伝えたりすることや、自分に合った学習方法を工夫する力については、さらに伸ばしていく余地が見られました。家庭学習や読書の習慣についても、引き続き重点的に取り組んでいきたいと考えています。

今後も、生徒一人一人が自ら学び、仲間と協力しながら成長できるよう、教育活動の充実に努めてまいります。保護者の皆様には、家庭学習や読書習慣の定着に向けて、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。